

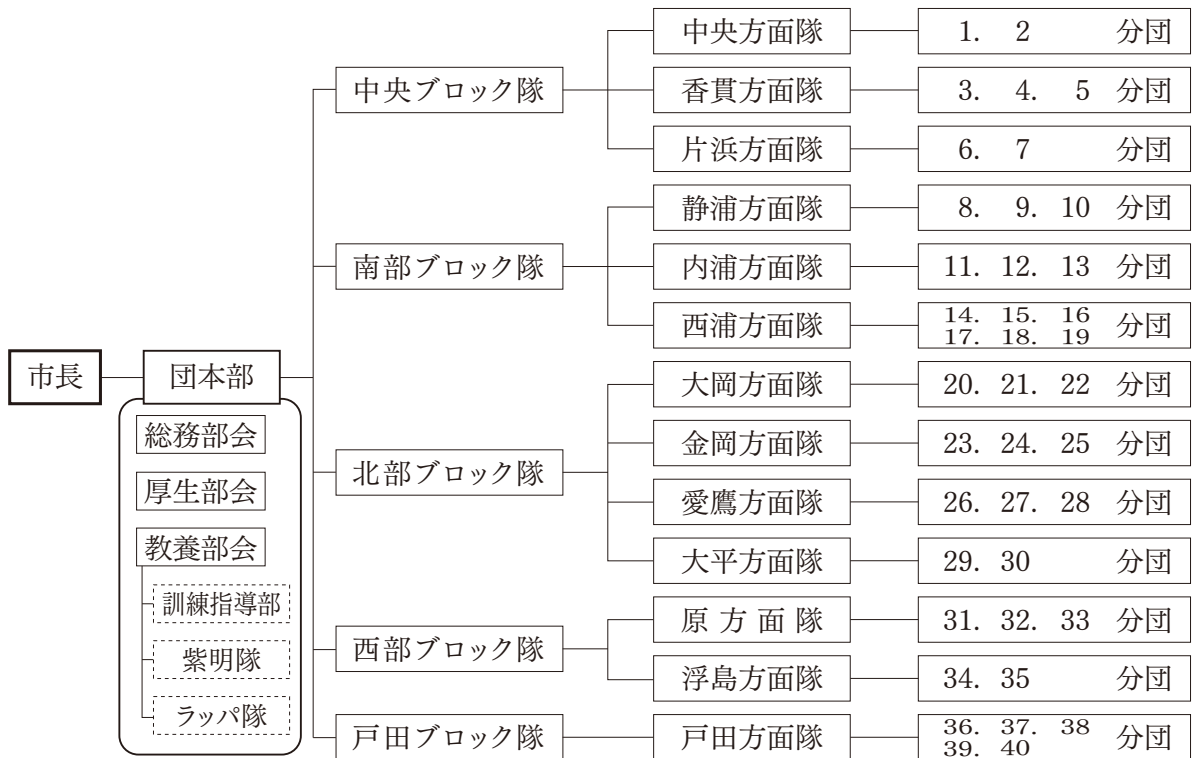
第 6 章 消 防

第1節 消防広域化

4市3町（沼津市、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、函南町及び清水町）による駿東伊豆消防本部（駿東伊豆消防組合）の運営経費の一部を負担した。

第2節 消 防 団

1 機 構



2 団 員 数

(1) 定 員

999人

(2) ブロック隊別団員数

(単位 人)

団本部・ブロック隊名	定員	実員
団本部	69	66
中央ブロック隊	158	98
南部ブロック隊	311	303
北部ブロック隊	237	174
西部ブロック隊	129	111
戸田ブロック隊	95	71
計	999	823

(令和2年3月31日現在)

3 主な訓練等

- (1) 団員の技術の向上及び規律の保持を図るため地域防災の要である消防団が、基本訓練及び実災害を想定した実践的な訓練として、方面隊演習を実施した。
- (2) 各分団により、火災予防運動期間中に地域の防火広報活動を実施した。
- (3) 住宅防火対策の一環として、火災予防運動期間中に住宅防火診断を実施した。
- (4) 消防団員の応急手当普及員育成のため、女性消防団員（紫明隊）による講習会を実施した。
- (5) 消防団員の知識及び技能の修得のため、静岡県消防学校に、団員9人を派遣した。
- (6) 令和2年1月13日に第一小学校で消防出初式を開催した。

4 消防団車両・消防団詰所

第3・39分団の消防ポンプ自動車2台を更新した。

5 消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団に係る貢献度を社会的に評価するとともに、消防団と事業所等の連携及び協力体制を強化し、消防・防災体制の充実、強化等の一層の推進を図るため、消防団の活動に積極的に協力している事業所等に対し、新規2件、継続10件を消防団協力事業所として認定した。令和2年3月31日現在の認定数は25件であった。

6 消防団応援の店制度

消防団の福利厚生の充実による消防団員の確保及び地域防災力の向上を図ることを目的として、市内にあるサービス業などの店舗等が、消防団員及びその同伴者に対して、一定のサービスを提供する消防団応援の店制度を導入し、令和2年3月31日現在の登録数は22件であった。

第3節 消 防 施 設

1 水 利 施 設

耐震性貯水槽（40 m³）2基、消火栓1基を増設した。

（単位 基）

年 度	防火貯水槽	消 火 栓	消 防 井 戸	プ ー ル
元	602	3,248	167	54
30	600	3,247	167	54